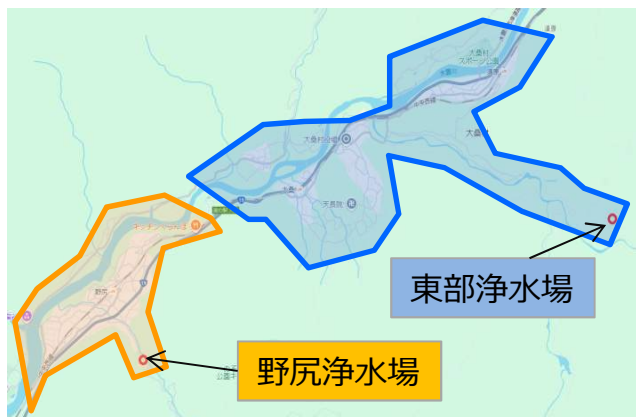




第2回目は生活必須インフラのひとつである上水道について報告します。

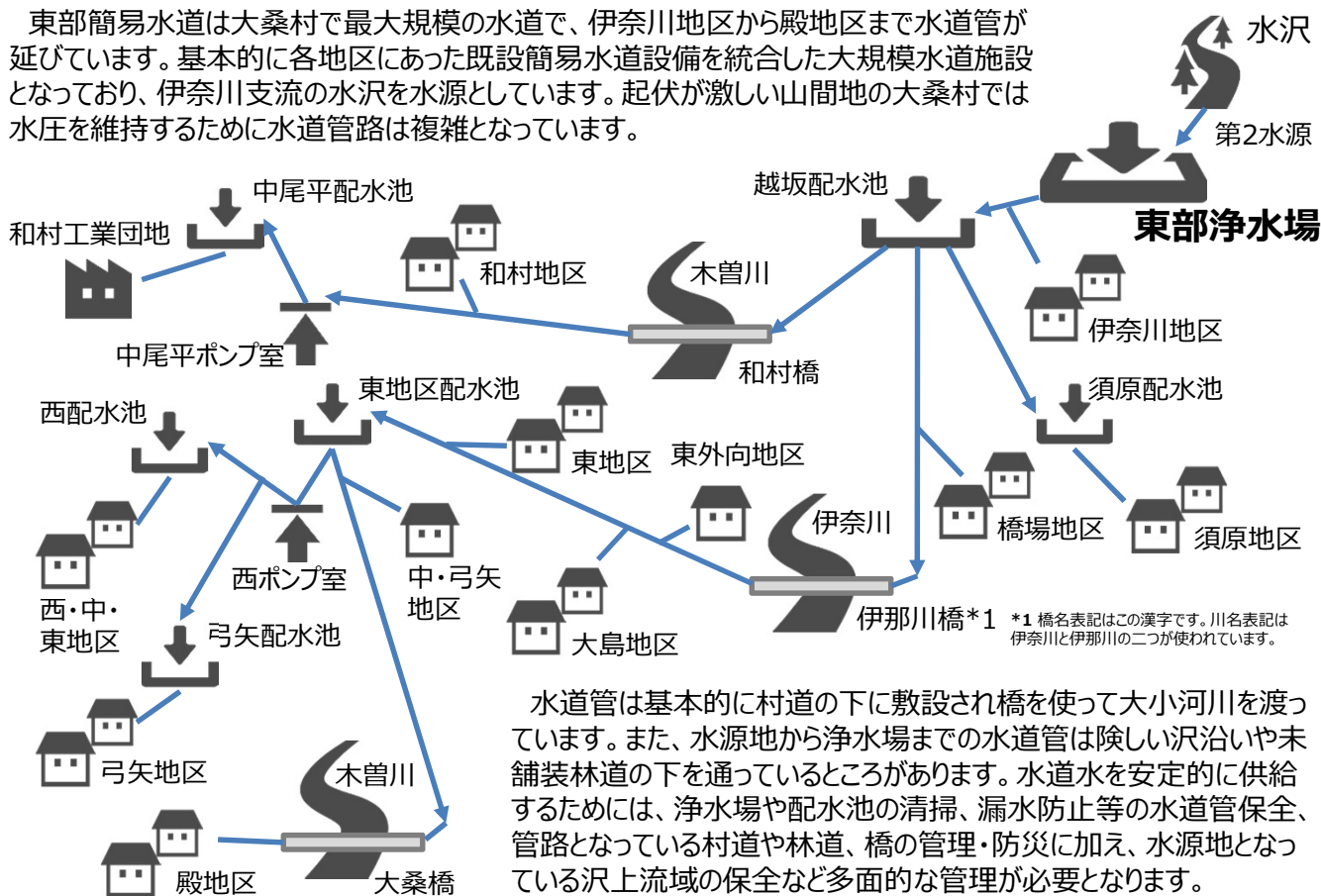


大桑村には東部、野尻、上郷、伊奈川、小川の計5ヶ所の浄水場があり、水道管総延長は**70km**あります。その内、東部浄水場と野尻浄水場が大桑村の大半の住宅に水道水を供給しています。特に伊奈川奥に水源地を持つ**東部浄水場は村の3分の2近くの家庭に水道水を供給**しています。水道水供給を安定的に維持する為には水源地の保全や管路を含めた継続的な施設管理が必要となります。各設備に関する**詳しいレポートはブログURLからご覧いただけます。**

## 空き家が増えても村の隅々まで水道水を供給する必要があります

### 大桑村最大規模の東部簡易水道はこんな施設

東部簡易水道は大桑村で最大規模の水道で、伊奈川地区から殿地区まで水道管が延びています。基本的に各地区にあった既設簡易水道設備を統合した大規模水道施設となっており、伊奈川支流の水沢を水源としています。起伏が激しい山間地の大桑村では水圧を維持するために水道管路は複雑となっています。



水道管は基本的に村道の下に敷設され橋を使って大小河川を渡っています。また、水源地から浄水場までの水道管は険しい沢沿いや未舗装林道の下を通っているところがあります。水道水を安定的に供給するためには、浄水場や配水池の清掃、漏水防止等の水道管保全、管路となっている村道や林道、橋の管理・防災に加え、水源地となっている沢上流域の保全など多面的な管理が必要となります。